

証券コード:4369

# 第35期報告書

平成24年2月1日～平成25年1月31日

トリケミカルレポート





代表取締役社長  
齋藤 隆

当社は科学技術の創造を通じて最先端テクノロジーの発展に貢献し、人々の『ゆとり創造』実現に寄与いたします

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社は、高純度の“ウルトラファインケミカル”サプライヤーとして、最先端テクノロジーの発展に貢献すべく、半導体・太陽電池・光ファイバー等向け化学材料の研究開発・製造・販売を行っています。

当期につきましては国内・海外ともに閉塞感の強い、不安定な経済環境下にありました。

こうした厳しい環境の中でも、当社は、持続的な成長を図るとともに、企業価値の最大化に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Q1 2013年1月期(当期)の業績をどのように評価されていますか？

半導体・太陽電池業界の低迷を受けて、売上・利益とも前期を大きく下回りました。

当社の主要な販売先である半導体業界においては、特に年度の後半にかけて、設備投資の抑制や生産調整の実施、さらには構造改革への取り組みの加速等により需要が大幅に縮小し、中でも台湾向け売上の落ち込みが顕著でした。加えて、太陽電池業界においても、全体的な需要の増加はあったものの、供給量の拡大に見合う水準ではなく、在庫の増加に伴い大幅に製品価格が下落したことが影響しました。

その結果、売上高は32億17百万円(前期比19.6%減)、営業利益は39百万円(同87.8%減)、経常利益は60百万円(同79.0%減)となりました。また、子会社清算益、投資有価証券評価損、損害賠償金の特別損益

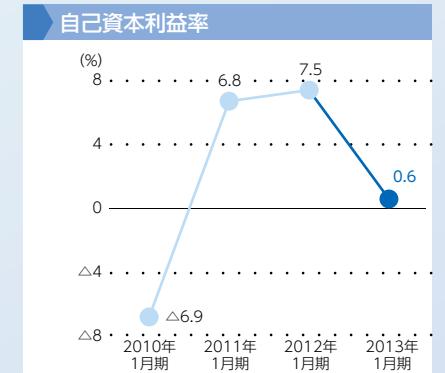
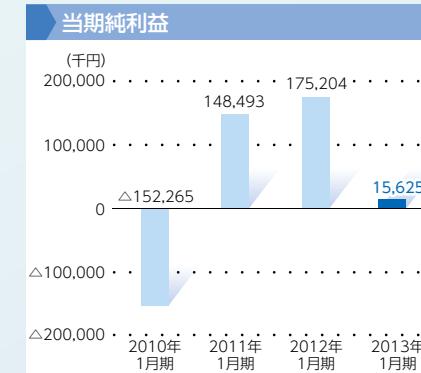
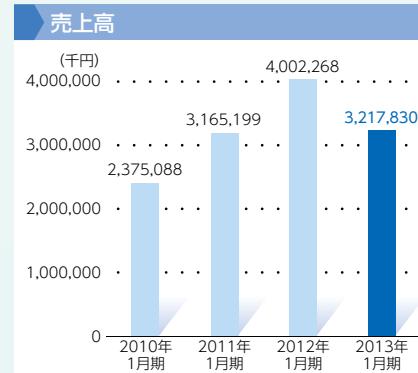
計上により税引前当期純利益が33百万円(同88.8%減)、当期純利益は15百万円(同91.1%減)となりました。

Q2 トリケミカルの特徴と強みについて、経営理念・方針も含め改めてお聞かせください。

顧客企業のニーズをつかんで対応できる「技術力とスピード」を強みとしています。

当社は「幅広い製品群を提供していること」が特徴・強みであり、大量生産品を得意とする大手化学企業には真似のできないニッチな市場をターゲットとする戦略を経営方針としています。その際に武器となっているのが、持ち前の「技術力とスピード」です。上場企業として株主の皆様への利益還元を最優先するために、この強みを活かした経営を進めてまいります。

■ 財務ハイライト Financial Highlights



\*当期(2013年1月期)より連結子会社が無くなったため、当社単独の決算を掲載しています。

**Q3** 2014年1月期の見通しについて  
お話しください。

半導体向け新規材料の拡販や太陽電池向け材料の営業強化により売上・利益の回復を見込んでいます。

半導体・太陽電池業界ともに徐々に持ち直し、光ファイバー業界は引き続き堅調に推移することが見込まれます。このような状況の下、販売面においては、付加価値の高い半導体向け新規材料の拡販に注力し、市況の回復にいち早く対応していきます。太陽電池向け材料でも、日本をはじめ、ここ数年の営業活動が実を結びつつある中国など、東アジア地域を中心とした販売活動に注力し、売上高の回復につなげていきたいと考えています。また、開発・生産体制では、



製品の更新や将来の成長に備えた利益率の高い次世代半導体向け材料の開発・生産体制の構築とともに、継続してあらゆるコストの低減に努め、収益力でも一層の向上を目指してまいります。

これらを踏まえ、2014年1月期の業績については、売上高35億30百万円、営業利益1億30百万円、経常利益1億16百万円、当期純利益66百万円を見込んでいます。

**Q4** 中期経営計画について、目標と事業戦略をお聞かせください。

2016年1月期の売上高41億円の世界達成に向け、製品・地域戦略と開発・生産体制の整備を進めていきます。



当社は今回、当期における環境及び業績を踏まえ、昨年に策定した3ヶ年の中期経営計画を見直し、3年後の2016年1月期の売上高目標を41億円とする新たな中期経営計画を策定いたしました。

計画達成に向けて、当社は第一に、市場環境に対応した製品戦略として、太陽電池向け材料の新規開拓、新規材料の売上増等による売上回復、半導体市場に向けた製品更新への対応とともに、地域戦略では中国を中心としたアジア向け販売体制の確立に力を注いでいきます。

第二に、開発・生産及び品質保証体制の見直しと、中長期的な製品の更新や大量化に対応するための設備等の強化による、開発・生産体制の整備を進めてまいります。



**Q5** 最後に株主・投資家の皆様へのメッセージをお願いいたします。

売上・利益の目標達成と2014年1月期の復配に向けて、全力を傾けてまいります。

当期の期末配当については、当期業績と財務状況等を総合的に勘案した結果、誠に遺憾ながら配当を見送らせていただきましたが、次期の配当は、予想業績に応じて1株当たり3円を予定しています。

引き続き、なお一層株主の皆様のご期待に添えるよう全社一丸となって収益成長を目指し、利益還元にも努めてまいります。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**製品戦略**

- 半導体向け材料**  
市場回復の動きに合わせて新規材料の拡販を見込んでいます。
- 太陽電池向け材料**  
中国市場での取り組みが実りつつあり、拡販を見込んでいます。
- 光ファイバー向け材料**  
引き続き堅調に推移することを見込んでいます。

■ 貸借対照表

(単位：千円)

	第35期 平成25年1月31日現在	第34期 平成24年1月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	2,227,551	2,207,078
固定資産	1,976,000	2,091,704
有形固定資産	1,885,854	1,997,944
無形固定資産	5,349	6,575
投資その他の資産	84,796	87,184
資産合計	4,203,552	4,298,783
<b>負債の部</b>		
流動負債	1,425,163	1,545,988
固定負債	370,492	335,111
負債合計	1,795,655	1,881,099
<b>純資産の部</b>		
株主資本	2,408,719	2,428,911
資本金	741,682	741,682
資本剰余金	642,682	642,682
利益剰余金	1,024,373	1,044,548
自己株式	△18	△3
評価・換算差額等	△823	△11,227
その他有価証券評価差額金	△823	△11,227
純資産合計	2,407,896	2,417,683
負債純資産合計	4,203,552	4,298,783

■ 損益計算書

(単位：千円)

	第35期 自 平成24年2月 1日 至 平成25年1月31日	第34期 自 平成23年2月 1日 至 平成24年1月31日
売上高	3,217,830	4,002,268
売上原価	2,227,311	2,744,797
売上総利益	990,518	1,257,470
販売費及び一般管理費	950,971	933,329
営業利益	39,547	324,141
営業外収益	36,720	5,489
営業外費用	15,481	39,518
経常利益	60,786	290,112
特別利益	29,762	64,726
特別損失	56,875	53,132
税引前当期純利益	33,673	301,706
法人税等	18,048	126,502
当期純利益	15,625	175,204

■ キャッシュ・フロー計算書 (単位：千円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	164,303
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,343
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	141
現金及び現金同等物の増減額	73,719
現金及び現金同等物の期首残高	605,060
現金及び現金同等物の期末残高	678,780

■ 株主資本等変動計算書

第35期(自 平成24年2月1日 至 平成25年1月31日)

(単位：千円)

	株主資本						評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産合計	
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金			自己株式			株主資本 合計
			利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	741,682	642,682	5,194	1,039,354	1,044,548	△3	2,428,911	△11,227	2,417,683
当期変動額									
剰余金の配当	—	—	—	△35,800	△35,800	—	△35,800	—	△35,800
当期純利益	—	—	—	15,625	15,625	—	15,625	—	15,625
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△15	△15	—	△15
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	10,404	10,404
当期変動額合計	—	—	—	△20,175	△20,175	△15	△20,191	10,404	△9,786
当期末残高	741,682	642,682	5,194	1,019,179	1,024,373	△18	2,408,719	△823	2,407,896

注：当期(第35期)より連結子会社なくなり、当社単独の決算となったため、本財務諸表では個別財務諸表のみを掲載しています。

■ 株式の状況

(平成25年1月31日現在)

発行可能株式総数 27,240,000株  
発行済株式総数 7,160,160株  
株主総数 1,751名

■ 会社概要

(平成25年1月31日現在)

商号 株式会社トリケミカル研究所  
設立 1978年12月  
資本金 741,682,800円  
代表者 代表取締役社長 斎藤 隆  
従業員数 107名  
本社所在地 〒409-0112 山梨県上野原市上野原8154-217  
事業内容 半導体用材料、光ファイバー用材料、太陽電池用材料、化合物半導体用材料、触媒、特殊試薬、その他の開発・製造及び販売

■ 役員

(平成25年4月26日現在)

取締役相談役 竹中 潤 平  
代表取締役社長 斎藤 隆  
専務取締役 太附 聖  
常務取締役 菅原 久 勝  
常務取締役 砂越 豊  
取締役 柴田 雅 仁  
取締役 高塚 英 明  
常勤監査役 木曾 幸 一  
監査役 伊藤 晶 夫  
監査役 梅澤 宣 喜  
監査役 萩原 道 明

■ トリケミカルグループ

本社・支店・営業所

株式会社トリケミカル研究所(本社)  
山梨県上野原市上野原8154-217  
TEL. 0554-63-6600(代表)  
FAX. 0554-63-6161

台湾支店  
台湾新竹縣竹北市光明六路東一段255号3F  
TEL. +886-3-6589080  
FAX. +886-3-6589081

上野原第二工場

山梨県上野原市上野原8154-16

関連会社

株式会社エッチ・ビー・アール  
(日本エア・リキード株式会社との合併会社)

関西営業所

大阪府吹田市南金田1-4-31 エッグワンビル303  
TEL. 06-6385-9877  
FAX. 06-6385-9950

## 株主メモ

事業年度	2月1日から1月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
基準日	1月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
公告の方法	電子公告により行います。ただし、電子公告による ことができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、 日本経済新聞に掲載して行います。
1単元の株式数	100株
上場証券取引所	大阪証券取引所JASDAQスタンダード
証券コード	4369



<http://www.trichemical.com/>

トリケミカル

検索

### ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。  
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。  
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理人となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。



株式会社トリケミカル研究所

〒409-0112 山梨県上野原市上野原8154-217  
TEL 0554-63-6600(代表) FAX 0554-63-6161



この報告書は、エコマーク認定の古紙配合率  
70%の再生紙を使用し、アロマフリータイプ  
植物インキで印刷されています。